

すてないで！！このプリントは、夏休みの提出物一覧とともに保管しておきましょう。

## チャレンジ！理科自由研究<sup>りかじゆうけんきゅう</sup>

以下の注意事項を確認してください。青城小理科原稿用紙と表紙（※）は、終業式までに理科主任や担任からもらうか、**来校時に理科室前の廊下から必要枚数お持ち帰り**ください。

≪  
注  
意  
事  
項  
≧

- 1 児童本人が取り組んだもので、未発表であること。
- 2 指定の理科原稿用紙を使用すること。（たて置き、横書き、左綴じ）  
・夏休み前に、「青城小学校 理科原稿用紙」と「表紙」を理科室前の廊下より持っていく。必ず、「青城小学校 理科原稿用紙」を使用し、足りない時は、今年度もらった用紙をコピーして使用してよい。
- 3 数年前から継続している研究については、表紙の次のページにA4用紙1枚で、昨年までの内容を簡潔にまとめる。
- 4 標本などの立体的なものや、大型の地図などは一緒に提出せず、写真におさめる、または、A4用紙の大きさにコピーをとる、書き直すなどして、A4用紙（この場合は指定の原稿用紙でなくてもよい。）に付けて、本文と一緒にまとめて提出する。
- 5 作品は、表紙を付けステープラーで留めて提出する。（紛失を防ぐため、クリップや輪ゴムは使用しない。）枚数が多く、ステープラーで留めることができない場合は、用紙の左側に2つ穴を開け、ひもで綴じる。
- 6 本文の最後に、「参考にした本」の項目をたて、参考にした本（著者名・出版社名）やインターネットのホームページ、実際に協力してもらった施設や人物名、論文（研究者名）を必ず記入する。何も参考にしなかった場合には、「なし」と表記する。
- 7 パソコンでの原稿作成は可。青城小学校理科原稿用紙の枠、文字数、行数に調節し、原稿用紙の形で印刷する。原稿用紙としての印刷が難しい場合には、枠を印刷せず、A4用紙へ文字だけ印刷する。

次ページ以降の児童向けの部分も一緒にお読みください。これらの内容に留意しながら、下書きの段階で、誤字の訂正や段落の書き始めを一字下げること、明らかに間違った文章の見直しなどを、お子さんとともに確認を行うとより良い作品となると思います。

本人以外の人物が文字や図などを書く、実験を行うことのないようにしてください。本人以外の人物による作品への関わりがあると判断された場合には、審査対象外となります。その年齢の児童の発想で取り組み、自分の言葉で説明されていることや、同年齢の児童が読んだり聞いたりした場合に理解でき、楽しむことができる内容であることが、児童の理科自由研究作品には大切です。

保護者の皆様には、お子様がゆとりをもって取り組めるような計画のためのアドバイスや、あきらめずにやりぬくための励ましをお願いします。

※ 夏休みの課題関連の紙面は、学校ホームページから、閲覧、ダウンロードできます。

担当：理科主任 田中総子  
青城小学校 35-4128